

基本評価シート

様式

北海道 上川・音威子府区域

(北海道上川総合振興局保健環境部環境生活課)

基本評価シート（ニホンジカ）

1. 事業の基本情報

事業名（※1）	北海道指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画（ニホンジカ）		
	令和4年度（2022年度）エゾシカ指定管理鳥獣捕獲等事業委託業務（音威子府地域）		
都道府県名	北海道	担当者部・係名	上川総合振興局保健環境部環境生活課自然環境係
担当者名	高橋克巳、岡田奈里砂	担当者連絡先	0166-46-5922
捕獲実施事業者	北海道猟友会・構研エンジニアリング受託コンソーシアム (認定を受けている)	予算額（※2）	169,545,000円
		予算額の内捕獲に要する経費（※3）	68,729,000円

（※1） 交付金を用いて実施した事業名を記入。複数ある場合は、事業件名ごとに記入。

（※2） 予算額は、交付金の対象となる指定管理鳥獣捕獲等事業の全体予算を記入する。

（※3） 予算額の内、捕獲に要する経費は、平成28年度から適用される交付金所要額調書様式1-2「2 指定管理鳥獣の捕獲等」の内訳を記入。その他にも、捕獲に要する経費がある場合は、別途加算する。

○令和4年度における生息等の状況及びこれまでの個体群管理の取組み

〈指定管理鳥獣捕獲等事業の実績〉

事業目標 (目標頭数などの数値目標)	実施結果	
	捕獲頭数	目標達成率
25頭	15頭	60%

〈生息等の状況及びその他の捕獲実績〉

推定生息頭数	特定計画管理目標	目標生息頭数
69万頭※ (個体数指数：東部124、北部113、中部163、南部358)	東部：R8末に個体数指数50以下（H23を100） 北部・中部：R13末に個体数指数50以下（H23を100） 南部：R8末までに減少に転じさせる	設定していない
狩猟捕獲数	許可捕獲(有害)	許可捕獲(個体数調整)
34,118頭(R3)	29,806頭(R3)	77,437頭(R3)

※令和3年度推定生息頭数。東部（オホーツク、十勝、釧路、根室）、北部地域（空知、上川、留萌、宗谷）、中部地域（石狩、胆振、日高）の合計。南部地域（後志、渡島、檜山）は、これとは別に3～15万頭の間と推定

○これまでの個体群管理の取組み（都道府県単独事業）

H9以降、道が策定した「エゾシカ保護管理計画」（H27以降「エゾシカ管理計画」）に基づき、狩猟期間の延長や可猟区域の拡大、雌ジカ捕獲制限の緩和、一斉捕獲の実施、モニタリングに基づく個体数指数を用いたフィードバック管理の推進等の対策を進めてきた。

2. 令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業の実施概要

項目	概要
事業背景・目的	<p>第二種特定計画である「北海道エゾシカ管理計画」において、指定管理鳥獣捕獲等事業について「エゾシカによる生物多様性への影響や被害等が深刻又は懸念される地域においては、指定管理鳥獣捕獲等事業による捕獲を必要に応じて計画的に実施する」としている。</p> <p>これに基づき、鳥獣保護区や自然公園など、市町村等による捕獲が困難な地域でエゾシカの捕獲を実施する。</p> <p>【選択欄】</p> <p><input type="checkbox"/> 特定計画の管理目標に不足する捕獲数を高密度地域で上乘せした。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 分布拡大防止を目的として生息域の外縁で捕獲を実施した。</p> <p><input type="checkbox"/> 効果的な捕獲手法の開発を行なった。</p> <p>※事業実施目的に最も近いものを1つ選択。</p>
人材育成の観点	<input checked="" type="checkbox"/> 人材を育成するための配慮、取組がなされている。
実施期間	令和5年2月9日～令和5年3月28日(※委託期間)
実施区域	<p>音威子府地域（中川郡音威子府村地域）</p> <p>[北大中川研究林鳥獣保護区隣接]</p> <p>音威子府村は上川管内の北部に位置し、人口は670人と道内で最も少ない自治体である。豪雪地帯と知られるが北大中川研究林（鳥獣保護区）と道有林で形成される森林が総面積の86%を占めており、エゾシカの生息環境として適地となっており、樹皮剥ぎが発生し森林生態系への影響が懸念されている。農業被害は蕎麦・牧草などに年間600万円から800万円程度発生しているが、捕獲対策を担うハンターの人数も限られ、村の捕獲事業では年間130頭程度の捕獲にとどまっている。また、エゾシカが関係する列車支障発生は、JR宗谷本線が路線別で最多であり、なかでも佐久駅～箆島駅間で顕著に発生している。</p> <p>※1：実施区域の特徴も記入</p> <p>※2：事業計画の地図がある場合は、図面を添付</p>
関係機関との協力	<ul style="list-style-type: none"> 音威子府村：地域住民への連絡周知や地元関係機関との調整、捕獲事業の情報共有を図る。 JR北海道：鉄路近傍が捕獲実施場所となるため、事業実施の許諾や作業スケジュールの共有を図る。 北大中川研究林：当該研究林との隣接地にて事業実施となり、専門性の高い見地からのアドバイスや作業スケジュールの共有を図る。
事業の捕獲目標	<p>(60%達成)</p> <p>=15頭(実績値) / 25頭(目標値)</p>
捕獲手法	<p>【銃猟】</p> <p><input type="checkbox"/> 誘引狙撃 <input type="checkbox"/> 巻き狩り <input type="checkbox"/> 忍び猟</p> <p><input type="checkbox"/> モバイルカリング <input type="checkbox"/> 夜間銃猟</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p> <p>【わな猟】</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> くくりわな <input checked="" type="checkbox"/> 箱わな <input type="checkbox"/> 囲いわな</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p> <p>※1：各種猟法の定義は○ページ参照、※2：複数チェック可</p>
捕獲個体の確認方法	<p><input checked="" type="checkbox"/> 個体の身体の一部(耳、尾など)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 写真(証拠写真は、捕獲者・捕獲個体・捕獲情報を記載したホワイトボード等を撮影する。)</p> <p><input type="checkbox"/> その他()</p> <p>※複数チェック可。</p>

捕獲個体の処分	捕獲個体の処分について <input type="checkbox"/> 全て焼却又は埋設を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、食肉等への活用を行っている。 <input type="checkbox"/> 一部、放置を認めている。 <input checked="" type="checkbox"/> 全て化製場へ運搬し処理した。 ※複数チェック可
環境への影響への配慮	わなによる錯誤捕獲について <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の情報を収集している。 <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の実態は不明である。 わなによる錯誤捕獲の未然防止について <input checked="" type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策をしている。 （内容：こまめに見回りを行い、錯誤捕獲があった場合には速やかに対応するようにした。また、箱わなに電子センサーを装備しエゾシカに合わせた体高を設定し自動でゲートを閉鎖するようにした） <input type="checkbox"/> 錯誤捕獲の防止対策はしていない。 鳥類の鉛中毒等について <input checked="" type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例がない。 <input type="checkbox"/> 鳥類の鉛中毒症例が確認されている。 鉛製銃弾について <input type="checkbox"/> 全て鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 一部、非鉛製銃弾を使用している。 <input type="checkbox"/> 全て非鉛製銃弾を使用している。
安全管理の体制	捕獲実施に先立ち、受託者が作成する「捕獲作業計画」において、連絡体制や実施体制、緊急連絡体制図、周辺住民等に対する周知体制、事故防止に向けた捕獲時の現地立ち入り規制体制等を記載させた。 受託者の内部にあつては、上記で定めた安全管理体制に基づき、従事者全員がそれぞれの役割を把握できるよう安全管理体制を構築させた。 捕獲事業の実施にあつては、予め捕獲場所、実施期間、及び捕獲手法について市町村等関係機関と調整会議を開催し、地域住民等にチラシを配布するなどにより周知を図らせた。 捕獲事業の実施期間は、実施区域へ立ち入る際に腕章を着用し、捕獲事業者であることを明確にした上で、必要に応じ関係者以外の立ち入りを規制した。 また、従事者のみならず、地域住民等の第三者の安全の確保に努めるとともに、労働安全衛生法等関係法令に基づく措置を講じた。特に、本業務は冬期間に実施されることから、事前に天候等の情報を入手し、移動時も含めて事故等の無いよう十分な装備と計画のもと実施させた。
捕獲従事者の体制	【雇用体制】 捕獲従事者数：8人 （内訳） 正規雇用者： 人、期間雇用者： 人 日当制：8人

3. 令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業の評価

○指定管理鳥獣捕獲等事業の達成状況の評価について

1. 捕獲に関する評価及び改善点※	
【目標達成】	評価：音威子府地域では今回が初めて捕獲事業である。目標頭数には届かなかったが、個体数調整に有効なメスの捕獲が2/3を占め、捕獲期間は実質18日間と短期間ではあるものの比較的高い捕獲効率となった。また、3月に入ると連続して捕獲されるようになった。要因としては、気温が上昇し河川が解氷す

	<p>るなどエゾシカの行動が変化した、日数の経過により餌に誘引される個体が増加した、捕獲期間の中途に休止期間を設定したことによりエゾシカの警戒心が緩和された等が考えられる。</p> <p>改善点：多雪地帯における冬季の捕獲においても、くくりわなが有効と確認できたが、くくりわなは架設後の積雪、ワイヤーの凍結による動作不良の恐れがあり、日々の見回り点検で動作不良を防ぐことができた。凍結等による動作不良が起り難いくくりわなの改良が望まれる。</p>
【実施期間】	<p>評価：餌資源の渴望期となる冬季間の捕獲は効果的である。特に3月の捕獲数が伸びており、冬眠明けのヒグマの動向にもよるが、融雪期に入る3月の捕獲が最も効果的と考えられる。</p> <p>改善点：誘引餌の設置と共に捕獲も開始したため、十分な馴化を得られなかった。少なくとも1週間程度は誘引餌による馴化が必要だった。</p>
【実施区域】	<p>評価：北大中川研究林からJR宗谷本線を跨ぎ天塩川に出現するエゾシカの捕獲を試みるには、今回の捕獲地となった箴島地区は適地と考えられた。</p> <p>改善点：箴島地区は適地であるがスペースは限定的である。ほかの捕獲適地を見つけることができれば、さらに効果的な捕獲事業になりうる。</p>
【捕獲手法】	<p>評価：くくりわなは捕獲場所において一度に40基以上を架設したことにより、一日当たりの捕獲効率が向上した。殺処分に関し電気止めさし器を使用し、見回りや捕獲個体回収にスノーモビルを使用することにより、一層効率的な作業となった。はこわなについては、センサーにより体高を感知し、エゾシカのサイズのみトリガーが作動するシステムを採用することにより、錯誤捕獲を未然に防いだ。また通信型センサーカメラにより監視し、基本的には見回り不要となるため労力の軽減が期待された。</p> <p>改善点：「くくりわな」と「はこわな」の設置地点が近傍であったため、「はこわな」で期待される労力軽減には至らなかった。複数の捕獲適地にて実施する場合に「くくりわな」と「はこわな」を区別することにより効果が期待できる。</p>
2. 体制整備に関する評価及び改善点	
【実施体制】	<p>評価：高い捕獲技術を有する団体と、調査やデータの取りまとめ及び結果の考察等を得意とする団体とがコンソーシアムを構成して受託したことから、十分な体制であったと考える。</p> <p>改善点：今後もコンソーシアムによる事業実施となる場合には、コンソーシアム構成員間の連絡調整体制を確実に構築させる必要がある。</p>
【個体処分】	<p>評価：捕獲個体は一時的に冷蔵保管し、湧別町に所在する化製場において処分した。化製場は遠隔地にあったが、貯留していたため一度の搬出で終了することができた。</p> <p>改善点：音威子府周辺にはエゾシカの食肉処理施設やペットフード加工施設がなく、名寄地区広域最終処分場は事業系一般廃棄物の受入れは行っていない</p>

	め、捕獲個体は約 180km も離れた湧別町のオホーツク地域化製場で処分せざるを得なかった。有効活用は勿論のこと、廃棄物処理も困難な状況にあり、何らかの改善が必要である。
【環境配慮】	評価：希少猛禽類オジロワシの営巣に支障が出ないよう、北大中川研究林に意見を求めながら進めた。
	改善点：当該区域では、同様の配慮を継続する必要がある。
【安全管理】	評価：地域住民へのチラシによる事前周知、現地入口等での注意看板設置及び安全管理規定に基づく捕獲体制により実施した。
	改善点：3月に入るとヒグマの冬眠明けと重なる時期になるため、ヒグマの動向には細心の注意を払う必要がある。
<p>3. その他の事項に関する評価及び改善点</p> <p>JR宗谷本線はエゾシカとの衝突を含む列車支障が多数発生しており、平常運転に支障が出ている。発生件数は近年さらに増加傾向にあり、特に佐久駅（中川町）と箴島駅（音威子府村）間における軽減対策が求められるところである。捕獲場所近傍の線路において、複数個体が横切った見られる足跡や、線路上に糞が確認された。周辺には多くのエゾシカが生息している状況が継続していることから、捕獲対策を引き続き講じていくことが必要と考えられる。</p>	
<p>4. 全体評価</p> <p>音威子府地域における「わな」による捕獲は有効であることが証明されたと考える。</p> <p>捕獲目標 25 頭に対し 15 頭の捕獲実績に終わったが、個体数長に有効なメスの捕獲が 10 頭と全体の 2/3 を占めた。餌による誘引効果も確認され、特に 3 月の捕獲が順調であった。また、スノーモビルの使用により見回りや捕獲個体の回収に威力を発揮した。</p> <p>本事業のみでは、JR宗谷本線における列車支障の軽減効果は不明であるが、当地において捕獲対策を継続することにより、線路に進入するエゾシカの個体数の減少が期待できると考える。</p> <p>捕獲後の個体処分には課題が多く残されており、当地において有効活用も含めた対策を進める必要がある。</p>	

※「改善点」の欄には、評価結果を次期の指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画にどう反映するか等について記入する。

○第二種特定鳥獣管理計画の目標に対する、本事業の寄与状況について

<p>道内で実施されているエゾシカ捕獲事業の主役は各市町村である。本事業を実施したことで、地元自治体に対し新しいタイプの捕獲手法を示すことができた。</p> <p>当地においても、自動撮影カメラによるモニタリングや、ICT機器を活用した効率的な捕獲事業の進展を期待する。</p>

4. 必須となる記録項目

(1) データの整備状況

ア) 基礎となる記録項目の整備状況

指定管理鳥獣捕獲等事業において整備している情報の項目にチェックをつける。

項目	整備状況	備考
①捕獲数・目撃数・捕獲努力量等の位置情報	<input checked="" type="checkbox"/> 行政区域（都道府県・市町村）ごと <input checked="" type="checkbox"/> 事業区域ごと <input checked="" type="checkbox"/> 5 km メッシュ <input type="checkbox"/> 1 km メッシュ <input type="checkbox"/> 捕獲地点（緯度経度） <input type="checkbox"/> 捕獲等に関する位置を記録していない	
②捕獲数	<input checked="" type="checkbox"/> 捕獲した個体の総数 <input checked="" type="checkbox"/> 雌雄の別 <input checked="" type="checkbox"/> 幼獣・成獣の別 <input type="checkbox"/> その他捕獲した個体に関する情報 ()	
③目撃数	<input checked="" type="checkbox"/> 作業の従事者が目撃した個体の総数	
④捕獲努力量	<input checked="" type="checkbox"/> 銃猟：のべ作業人日数※ <input checked="" type="checkbox"/> わな猟：わな稼働日数 (わな稼働日数=わな基数×稼働日数)	

※のべ作業人日：捕獲作業期間中に捕獲に従事した作業人数の合計。事前調査や下見に費やした作業の人日数は除く。

イ) 捕獲に関する概況地図の作成の可否

	作成できる概況図（地図）※についてチェック
捕獲位置の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> 捕獲位置の地図を作成できない
CPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> CPUE の地図を作成できない
SPUE の地図	<input checked="" type="checkbox"/> 5 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 1 kmメッシュ地図 <input type="checkbox"/> 地点（緯度経度）地図 <input type="checkbox"/> SPUE の地図を作成できない
概況図を作成する上での課題	特になし

※概況図は原則として添付する。添付できない場合は「作成できない」をチェックする。

(2) 実施結果（必須となる記録項目）

ア) 捕獲努力量に関する事項

①銃器による捕獲

外業の人日数総数※1： _____ 人日

事前調査人日数概数※2： _____ 人日

出猟（捕獲作業）人日数： _____ 人日

項目	令和4年 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（銃猟）のべ人日数	人日	人日	<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

②わなによる捕獲

外業の人日数総数※1： 72 人日

事前調査人日数概数※2： 3 人日

出猟（捕獲作業）人日数： 69 人日

項目	令和4年度 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
捕獲努力量（わな猟） わなの稼働総数（わな基×日数）	820 基日		<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1:事前調査人日数概数と出猟（捕獲作業）人日数の合計

※2:事前調査人日数概数は、捕獲作業直前の下見・調査を含まない。

イ) 捕獲に関する結果

①銃器による捕獲

項目	令和4年度 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	頭		<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②目撃数	頭		<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③雌雄比 (雌捕獲数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
④幼獣・成獣比 (幼獣数/全捕獲数)			<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（銃器）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	作業人日数※1	CPUE※2	SPUE※3
<input type="checkbox"/> 誘引狙撃	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 巻き狩り	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 忍び猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> モバイルカリング	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

<input type="checkbox"/> 夜間銃猟	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	人日	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少	頭/人日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：作業日数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／のべ人日数

※3：SPUE＝目撃数／のべ人日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

②わなによる捕獲

項目	令和4年度 (事業年度の値)	令和3年 (前年度の値)	増減の傾向
①捕獲数	15 頭		<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
②雌雄比 (雌捕獲数／全捕獲数)	0.67		<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
③幼獣・成獣比 (幼獣数／全捕獲数)	0.27		<input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

令和4年度指定管理鳥獣捕獲等事業における捕獲手法別（わな）の捕獲実績

捕獲手法	捕獲実績	わな稼働総数※1	CPUE※2
<input checked="" type="checkbox"/> くくりわな	14 頭	774 基日	0.018 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input checked="" type="checkbox"/> 箱わな	1 頭	46 基日	0.022 頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> 囲いわな	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少
<input type="checkbox"/> その他 ()	頭	基日	頭/基日 <input type="checkbox"/> 増加 <input type="checkbox"/> 減少

※1：わな稼働総数には捕獲を実施していない誘引期間は含まない。

※2：CPUE＝捕獲数／わな稼働日数

※CPUE、SPUE は前年度の指定管理鳥獣捕獲等事業と比較して、「増加」「減少」をチェックする。

エ) 捕獲個体の適切な処理

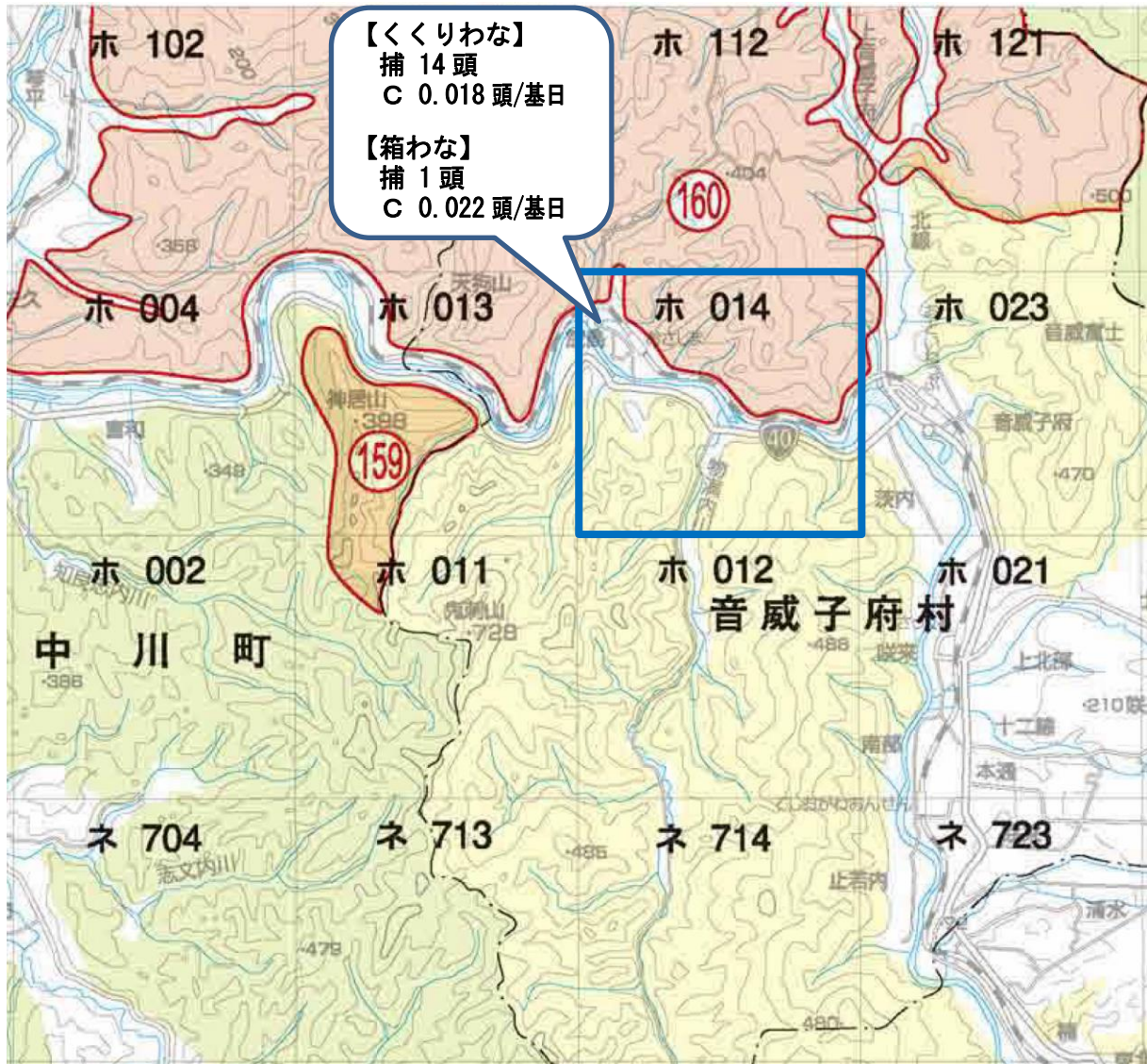
処理にかかる人工概数： 2人・18時間

処理した個体のうち、食肉等への活用した個体の数量概数： 0 個体

適正な捕獲が実施されたかを確認する手法

実施日時を作業日報に記載するとともに、捕獲個体毎に捕獲個体記録票を作成し、捕獲情報を記載したホワイトボード等を含めて撮影した写真を添付することとしている。

基本評価シート4（1）イ）に付随する概況図
（上川・音威子府地域）



北海道「令和4年度（2022年度）鳥獣保護区等位置図」より

【メッシュ番号】

ホ014：わな猟（くくりわな・箱わな）

(凡例)
捕：捕獲数
C：CPUE

北海道指定管理鳥獣捕獲等事業実施計画【上川・音威子府区域】

【位置図】

